

議会だより

令和3年第1回市会臨時会号
発行：2021年1月8日

号外

立憲民主党・無所属フォーラム横浜市会議員団
〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10

電話：045-671-3028
FAX：045-681-2410



臨時会で住民投票条例制定直接請求について審議

自民党系・公明党会派の反対多数で否決 193,193筆の市民の願い届かず

令和3年第1回市会臨時会が1月6日から8日の3日間に渡り開かれ、IR・カジノの是非を問う住民投票条例制定案について審議され、自公の反対により否決されました。

1/6日 議案関連質疑

市長の民意無視の姿勢を断じる

会派を代表して荻原隆宏議員（西区）が議案関連質疑に登壇。「193,193筆の署名の重みに対する市長の考え方」、「住民投票実施に意義を見出しがたい」と意見を付した林文子市長に対し、市民の願いを



代弁するべく70問以上にわたり市長に質し市民無視の市政を断じました。

◀荻原議員

1/7日 政策・総務・財政委員会

頑なに住民投票を拒む当局

我が会派のこがゆ康弘委員（旭区）と藤崎浩太郎副委員長（青葉区）は「横浜の未来を大きく左右するもので、直接民主制を使って諮詢るべき」と強く要望し、市民の想いを胸に頑なに住民投票を拒む当局や推進派議員に対し論戦に挑みました。



採決で賛成の手をする
こがゆ委員と藤崎副委員長▶

1/8日 反対討論

誘致撤回まであきらめず闘い続ける

望月高徳議員（都筑区）が反対討論に立ち、「IR誘致の是非は民意を問うべき問題だ」「さまざまな立場の市民が住民投票による民意の確認を求めている」と市長に迫り、住民投票条例案について可決するよう市長はじめ全議員に強く訴えました。



望月議員▶

1/8日 本会議・採決

住民投票条例案が否決される

日程第1 市第100号議案

委員会の報告書：否決

投票結果



本会議での採決は委員会で議決された住民投票条例案否決について賛否が諮詢されるため住民投票賛成議員は反対票を投じました。

2021年1月8日

立憲民主党・無所属フォーラム

団員会今野興人



カジノの是非を決める住民投票条例案「否決」に対する声明

我々会派は、多くの市民の思いと願いの詰まった署名の重さと民主主義・住民自治の堅持の観点から「カジノを含む統合型リゾート施設（IR）誘致についての住民投票に関する条例の制定」について条例を制定し民意を問うべきとの強い姿勢で臨時会に臨んできた。

林文子市長は、2020年10月16日の市長定例記者会見で誘致の賛否を問う住民投票が実現し、IRへの反対が多数を占めた場合「結果を尊重する」と明言したにも関わらず、臨時会において「住民投票を実施することには意義を見出しがたい」などと住民投票に否定的な意見を付けて条例案を議会に提出した。この意見内容は民主主義の根幹を破壊し、市民感情を逆なでするものであり断固として非難する。

また、先の本会議（1月6日）での市長答弁は、これまでの横浜市政の歴史の中で例を見ない市民運動が市内各地で巻き起こり、多くの市民が民意の尊重を訴えているにも関わらず、民意を軽視し十分な説明責任を果たさない答弁であったと言わざるを得ない。

加えて、本議会における採決にあたっては、自民党系会派および公明党会派は「市民の思いを重く受け止める」としながらも数の力で市民の切実な声と思いを否決した。このことは民意を代弁し常に市民に寄り添うべき市会議員として決して許されない。

よって、我が会派としては、上述した内容を総合的に勘案し、民主主義・住民自治に反するカジノを含む統合型リゾート施設（IR）誘致について、断固反対の立場を貫き将来の横浜に相応しい市民が望む山下ふ頭の再開発の実現に向けて取り組むとともに、民意を反映できる横浜市政を取り戻すべく今夏の横浜市長選挙に臨む決意である。

以上

議員の活動チェックは
こちらから!

会派では横浜市の重要課題にいち早く取り組めるようにヒアリング、勉強会、視察を随時行っています。会派所属議員の日々の活動報告はこちらからご覧いただけます。

立憲民主党・無所属フォーラム横浜市会議員団関連サイト・SNS

公式サイト



<http://dpj-hama.org/>

フェイスブック



カジノ撤回サイト



LINE公式
アカウント



お気軽に
登録してね